

8

2021

三重病院

ニュースレター

news letter vol.264



- 01 アレルギー体質があるけれど
コロナワクチンを接種しても大丈夫ですか?
- 02 臨床研究部からのお便りー第39回ー
- 03 2病棟 スマイルフラワー展
地域連携部門のご案内
通所支援事業のひとコマ
- 04 異動のごあいさつ
医療安全だよ!
- 05 5病棟の生活のひとコマ⁶⁶
地域の医療従事者対象研修(令和3年度)
- 06 病院からのお願い
外来からのお知らせ／外来診察のご案内



コロナワクチンの 接種が進んでいますが、 心配なことは?

コロナワクチンにはコロナ禍
制圧への期待がかり、みなさ
まから「もう接種したよ」、「ク
ーポン届いたけれど全然予約取れ
ないよ〜」、などいろいろな声
を聞きますが、「副作用が心配だ
から接種したくないな」、とい
う方もいらっしゃいます。

三重病院アレルギー科では、アナフィラキシー(強
いアレルギー反応)や喘息をお持ちの患者さんの診断
や治療を行っています。最近、その方たちから「コ
ロナにかかるのも怖いけれどワクチンで副反応が出る
のも怖いので、どうしたらいいですか」、という相談
をよく受けます。

コロナワクチンの接種によって何らかのアレルギー
反応が起きることは、稀(まれ)ですが確かにあります
ので、とくにアナフィラキシーを経験したことがある
方にとってはご心配なのは当然のことでしょう。



どんな人にアレルギー副反応が 起きやすいのでしょうか?

今のところ、コロナワクチン接種によるアナフィ
ラキシーは女性に多いこと以外、副反応を起こす人の目
立った特徴はありません。薬剤アレルギーやアナフィ
ラキシーの既往がある方の割合が多い傾向にはありま
すが、これらのアレルギーがあってもコロナワクチン
の接種は大丈夫な方のほうが圧倒的に多く、逆にア
レルギーがなくてもコロナワクチンでアナフィラキシー
を起こした人もいます。

つまり、「非常に稀(まれ)だけでも誰にでも起こ
りえる」ので、今、すべてのワクチンの接種会場では
アナフィラキシーが起きたときのために十分な対策が
とられています。もし起きてしまったとしても、適切
な処置ができるよう準備がされていますので、どうか
ご安心ください。

アレルギー体質があるけれど コロナワクチンを 接種しても 大丈夫ですか?



接種を受けるときの 備えは?

アナフィラキシーなどのア
レルギー反応は起こるとすれ
ば、多くが30分以内なので、
接種会場ではワクチンを接種
して15分または30分間と
いった経過をみる時間がとら
れています。でも、大切な
のは「何か変だな」と感じたら、
たとえ軽い症状だとしても、

その場を動かずに手を上げるなどしてスタッフを呼ん
でいただくことです。我慢して様子を見る必要はあり
ません。



三重病院からのメッセージ



これまで述べましたように、稀(まれ)ながらも、起
こるかもしれないワクチンによるアナフィラキシーに
対しては、しっかりした対応が考えられています。でも、
ご心配な方はご遠慮なく、アレルギー科にご相談くだ
さい。



副反応で熱がでるといいますが…

コロナワクチン接種後に、発熱とか、局所の痛
み、倦怠感などがでる方がいます。でも、ワクチ
ンがコロナウイルスへの防御力をつくる過程でお
こる反応の一部なので、大きな心配はいりません。
接種翌日に多いのですが、2~3日目には引いて
いきます。仕事の調整など
をしておくといいでしょう。
三重病院は副反応の状況を
リアルタイムでみることがで
きるサイトを準備していま
す。ご参考にしてください。



(臨床研究部長 長尾 みづほ)